

地方創生への取り組みが本格化

調査設計などの委託料3100万円を計上

12月議会定例会は12月8日から11日まで4日間の会期で開かれました。今定例会には、地方創生を推進するための委託料を増額する補正予算や防犯カメラの設置、運用に関する条例、子どものいじめ防止条例など10議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、12項目にわたって町政をただしました。



会、英語弁論大会が県大会出場である。

ふるさと納税者への返礼品について問う

(阿部泰藏議員)

問 ふるさと納税者に対する農産物の返礼品に16万3000円とあるが、件数と対応について伺う。

総務課長 平成27年度の現在105件、508万円ほどになっている。内容は、特産品としてモモ、あんぼ柿、りんごなどをお礼としてお返ししている。

防火水槽設置事業債の大幅増の理由は

(村上正勝議員)

問 防火水槽設置事業債で、当初650万円だったものが補正後840万円と大幅増になったのはなぜか。

住民生活課長 大字内谷字西についてであり、今回の復旧工事にはなかった舗装の復旧工事が必要な現場であったため、資材などの諸経費の上昇も含め、192万円の補正をした。

電気料が増えた理由は

(浅野富男議員)

問 役場庁舎の電気料131万円の増額について理由を伺う。

総務課長 以前の金額を見込んで当初予算を組んだが、基本料金の上昇にもない、今後の見込みも含めて不足が生じたため増額をした。

質疑

一般会計

中学校部活動補助金の内容は

(佐藤定男議員)

問 中学校部活動補助金204万円の競技・種目などの具体的内容は、

教育次長 おもなものは、剣道・卓球が東北大

平成27年度一般会計 補正予算(第3号)のおもな内容

【おもな事業】

• 町債(借金)返済	2億1150万円
• 地方創生を推進するための委託料	3100万円
• 松くい虫防除の事業費	1810万円
• あんぽ柿加工施設への補助金	779万円
• 農地集積協力金交付金(小坂ほ場整備地内)	733万円
• 教科書改訂に対応する教職員指導書購入	286万円
• 9月集中豪雨による農道・林道の災害復旧費	284万円
• マイナンバー制度の中間サーバーについての負担金	209万円
• 中学校部活動補助金(東北・県大会出場など)	204万円
• 災害援護資金の返済	195万円
• 防火水槽設置費(内谷地区)	192万円
• 公用車の更新費用	190万円
• その他、人・農地プラン作成支援業務委託など	1289万円
計	3億421万円

【おもな財源】

• 前年度からの繰越金	2億1150万円
• 町債(借金)	5940万円
• 地方交付税	2829万円
• 基金繰入金など	2831万円
• 国・県からの補助金(社会資本整備総合交付金事業分の減額など)	-2329万円
計	3億421万円

■ 町債(借金)の残高

会計名	26年度末現在	27年度末見込
一般会計	58億7400万円	72億1174万円

※災害援護資金は含まない。

■ 財政調整基金(貯金)の残高

会計名	26年度末現在	27年度末見込
一般会計	8億5161万円	6億494万円



八島議員に総務大臣感謝状

10月16日、東京都のルポール麹町で、八島博正議員に総務大臣感謝状が贈呈されました。

35年以上議員として在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められたもので、12月定例会の席上で伝達されました。



付せんの数だけ国見の良いところが出されました
(未来まちづくりワークショップ)

公用車の更新時期 に定めはあるのか



(阿部泰藏議員)

公用車の更新で190万円の増額があるが、更新の時期はどのように定めているのか。



公用車は丁寧にできるだけ長くもたせるように管理をし、耐えられなくなった場合に更新を

している。今回の車輛は17万キロ走行で15年が経過しかなり古いため、安全管理の面から増額をした。

機構集積協力金 交付事業とは



(八島博正議員)

機構集積協力金交付事業はどのような事業か。



「人・農地プラン」を作成し

た地域で、農地を集積した面積の割合に応じて国から協力金が出るもの。小坂地区で3月に「人・農地プラン」を作成したことに基づき、ほ場整備をした90ヘクタールのうち集積できた36ヘクタールが対象となって支給される。地域の農業を担う組織などに交付をし、農地保全や環境整備に有効活用をする事業である。